



第 21 号

令和元年10月20日 発行

編集発行

飯室地区社会福祉協議会

発行部数 1100部

題字 森井一幸



2018/10/25



平成30年10月25日

飯室地区社会福祉協議会

会長 元木 久志

寿会・女性会・公民館と共催で安佐市民病院副院長土手慶五先生による「地域で互いに助け合っている方法を教えてください」の講演会がありました。グループ討論あり、笑いありの楽しく有意義な会でした。地域とそして住民と触れ合うことがとても大事なことであると感じました。いま百歳時代と言われていますが、人生には「青春」「朱夏」「白秋」「玄冬」の四つの季節があるとのこと。後半の「玄冬」に差し掛かり、登りでは見えなかった風景を降りて感じるがあります。高齢者の好ましい活動として、健康のためボランティア参加や好奇心をもって色々することが良いといわれますが、元々積極的でないのに無理しても酷なことで、孤独を楽しんだり昔話をしたりして振り返り回想することがあってもと思います。

講演を聞きながら、読書も良いですが、本当に大事な事は、人が人に話をする「声」を通じて伝わるものだと思います。

「土手先生の講演会を拝聴して」

民生児童委員 河田 優子

土手先生の講演はいつも具体的でわかりやすく、話術のうまさには、あっといふ間に時間がたつてしましますが、今回も興味深いお話を楽しく拝聴いたしました。

土手先生は二〇二二年春に開業する新病院「広島市立北部医療センター・安佐市民病院」の建替担当をされておられ、今後この病院を担う役割について最初に話されました。

まずこの立派な病院は、高度急性期の「いざ」の治療を提供する病院で、入院は最大九日まで。次に家に帰る準備をする病院として、安佐医師会病院（現在の安佐市民病院の北館）や安芸太田病院などがあり、ここには最大六十日で、その後は施設や在宅で通院するようになるとのこと。これからはそれぞれの病院によって違う役割を担うことがわかりました。



そうなる
とこれらの
病院を上手
に利用する

ために、賢い医者のかかり方を身につけておくことが必要となります。例えばお薬手帳を活用し、効いた薬はメモなどとして覚えておいたり、体重・血圧測定は定期的に自分で測るなど自己管理をしながら、専門医・

かかりつけ医それぞれに、いつでも相談できるようにしておくこと。そして医者任せにせず自分の思いをその都度しっかり伝えていくことがこれからは大事になるとのことでした。

その後各グループに分かれ、「自分たちの地域で助け合っていることやその方法」について話し合いました。近所の人との声かけや立ち話・野菜などのお裾分け・いき



いきサロン・祭り・お寺参りなどのグループも日頃の様子を出し合い、改めて関わり合い助け合っていることを実感しました。

土手先生は「飯室には自然や新鮮な農作物があり、市内にも近くとも住みやすいいいところで、隣近所でお裾分けし合ったり、祭りがあり一緒にしゃべる場所の集会所・お寺・神社が充実している。そしてこれらの支え合う仕組みを利用して、地域みんなで支え合う環境づくりを益々していただいたい。」と締めくくられました。これから地域共生社会の実現を目指していくことの大切さを実感したお話でした。

最後に事務局からお礼の花束の贈呈がありました。それは飯室の採れたての立派な大根やねぎがきれいにラッピングされたもので、土手先生も会場も大きな拍手と笑いに包まれ、最後まで大盛会の講演会となりました。



飯室の採れたて野菜の贈呈



あなたの「困った！」に 森城ハウス・トライが お役に立ちます。!



飯室地区にお住まいの方で、要支援1・2の方、基本チェックリストで該当となった方の(事業対象者)へ生活支援を実施しています。

ただし、上記の方に加えて障がいをお持ちの方、要介護認定を受けている方、又は要支援、要介護認定を受けていない高齢者等へ生活支援を実施することを妨げるものではありません。

※ 日常のちょっとした困りごとを住民同士で支えあえる街づくりに、飯室地区社会福祉協議会の協力を得て取り組んでいます。

☆ 困りごとが生じたら、まずはお電話でご相談ください。
こんな お手伝いをしています

 食事の世話	 家具の移動	 洗濯・手洗い	 買い物の付き添い
 植木の枝切・剪定	 かたづけ・ゴミ出し	 電球の取り換え	 家庭の掃除
 はなし相手	 お弁当	 庭の草取り	受付時間 10:00~12:00 定休日 水曜日・木曜日

★ 申し込みがあれば、担当者が後日お宅に伺います(秘密は厳守します。)

★ 支援は原則二人以上で行います

★ 作業時間は2時間まで(料金は一人、1時間 1,000円)が必要です。

☆ お問い合わせ、お申し込みはこちら

☎ 082-835-3404

森城ハウス・トライ



協力 飯室地区社会福祉協議会

スタッフの紹介と参加募集 ☆飯室地区福祉ボランティアに参加してみませんか?
飯室学区のために ひとりでできなくても、周りの人と一緒ならできるボランティア。

時間外 携帯 090-9421-1480 石山

令和元年度 飯室地区
社会福祉協議会事業計画

- ① 老人福祉対策
 - (1) 「福祉の集い」の実施
 - (2) 敬老の日記念式典への助成
- ② 福祉教育の推進
 - (1) 飯室小学校の各種取り組みへの協力
 - (2) 飯室小学校福祉教育支援
- ③ 地域づくり運動
 - (1) 近隣ミニネットワークづくり事業への取り組み
 - (2) あいさつ運動への取り組み
 - (3) ふれあいいきいきサロン設置推進事業への取り組み
 - (4) 地域高齢者交流サロン運営事業への取り組み
 - (5) 広報紙『いむろ』第21号の発行
 - (6) 「福祉のまちづくりプラン」に向けての取り組み
 - (7) 飯室地区高齢者支え合い事業（飯室おとなりネット）への協力
- ④ 福祉委員活動
 - (1) 福祉委員全体研修会（民生児童委員合同）
 - (2) 「親と子と地域の集い」への参加
 - (3) あいさつ運動への参加
 - (4) 弔辞のお世話

⑤ 団体助成

○子ども会・あいさつ運動協議会へ各二万円

⑥ 団体協賛

○飯室ふれあいセンターへ十三万円

⑦ 会議

(1) 総会
(2) 理事会

(3) 三役会議（福祉委員合同）

(4) 広報紙編集委員会議

⑧ その他

(1) 各自治会の協力で地区社協会費の徴収

(2) 各種会議・研修会への参加

善意の灯

次の方々から、当社協に対して御寄付を頂きました。皆様の御厚志に厚く御礼申し上げます。

堂本 久枝	倉本 忠宏	清水 静子
森重須与子	長本 良治	神字智枝子
堀川ツヤコ	大下 博明	向井 博之
若本小夜子	林谷小夜子	(敬称略)

★ありがとうございました★
(平成30年4月～平成31年3月)

令和元年度
飯室地区社会福祉協議会
役員名簿

【役職】	【氏名】	【所属団体】
会長	元木 久志	
副会長	福本 洋雄	連合自治会
副会長	河野 康子	女性会
副会長	岡野 正司	民生児童委員
顧問	倉本 忠宏	
理事	古川 行洋	防犯組合
理事	上田 秀信	寿会
理事	前崎 光和	青少協
理事	花谷 昭範	体協
理事	新田 隆幸	消防団
理事	佐藤 もえ	子ども会
理事	一柳 直樹	中学校PTA
理事	徳丸 明宏	交通安全協会
理事	元木 禎宏	公衆衛生協議会
理事	仲野 恭治	J A広島市安佐支店
理事	寺西多加根	民生児童委員
理事	飯田 静子	民生児童委員
理事	河田 優子	民生児童委員
理事	若本小夜子	民生児童委員
理事	坂本 峰子	民生児童委員
理事	石山 弘幸	民生児童委員
理事	石丸 智子	主任児童委員
理事	前崎 峰子	福祉委員
監事	山手 喜子	民生児童委員
監事	力本 博	小学校PTA
事務局長	三川 明美	

献血のご協力
ありがとうございました



今年も8月3日(土)に、「コムズ」で献血を行い、57名の方々のご協力を頂きました。

小河内・飯室地区
献血推進協力会

編集後記

今年ラグビーのワールドカップが日本で開催されています。今まさに復興途中の岩手県釜石でも試合が行われていることをご存知ですか？津波で全壊した学校の跡地に新設されたラグビー場では八月にフィジィとの前哨戦があり、多くの観客が集まりました。自分達がまた大変な中、国内外の人達をおもてなします地元の取り組みには胸をうたれます。

どうか皆様も、今一度あの未曾有の災害に思いを馳せ、日々復興にむけて頑張っておられる東北の地に、エールを送りましょう。そしてこの大会の成功が、日本各地の被災地の人達にとって希望の灯となることを願ってやみません。

編集委員